D01308101B

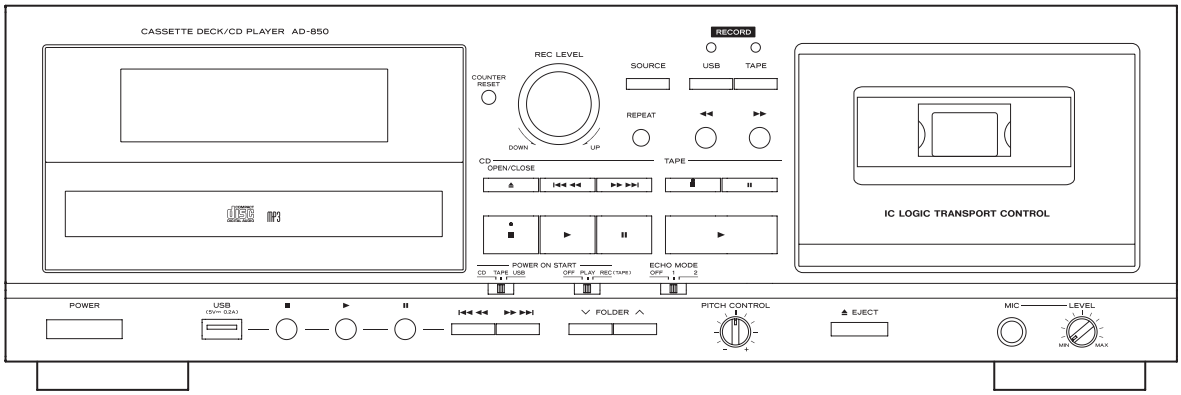
TEAC

取扱説明書

AD-850

カセットデッキ /CD プレーヤー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目　次

本機でできること 3
お使いになる前に 3
安全にお使いいただくために 4
USB メモリーについて 7
MP3 について 7
ディスクについて 8
カセットテープについて 9
お手入れ 10
接　続 11
各部の名前とはたらき (本体) 12
各部の名前とはたらき (リモコン) 14
リモコンの使い方 15
ディスプレー 16
基本操作 18
ディスクを聴くには 19
シャッフル再生 21
リピート再生 22
プログラム再生 23
カセットテープを聴くには 26
USB メモリーを聴くには 28
USB メモリーに録音するには 30
USB メモリーからファイルを消去するには 32
カセットテープに録音するには 33
マイクミキシング再生 / 録音 36
タイマー再生 / 録音 38
MP3 ディスクの再生順 40
困ったときは 41
仕　様 43
保証とアフターサービス (よくお読みください) 47

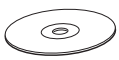
Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.

MPEG Layer-3 audio coding technology is licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

本機でできること

再 生



CD/CD-R/CD-RW
(オーディオ CD/MP3 ディスク)

➡「ディスクを聴くには」19 ページ



カセットテープ

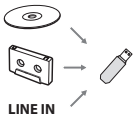
➡「カセットテープを聴くには」26 ページ



USB メモリー (USB フラッシュメモリー) に保存された MP3 ファイル

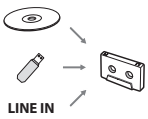
➡「USB メモリーを聴くには」28 ページ

録 音



ディスクやカセットテープ、外部接続した機器から USB メモリーに録音

➡「USB メモリーに録音するには」30 ページ



ディスクや USB メモリー、外部接続した機器からカセットテープに録音

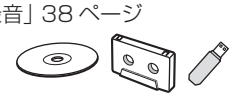
➡「カセットテープに録音するには」33 ページ

タイマー

市販のタイマーが必要です。

➡「タイマー再生 / 録音」38 ページ

タイマー再生



タイマー録音 **LINE IN** ⟶

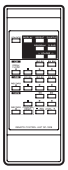


お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

リモコン (RC-1329)×1



リモコン用乾電池 (単 4)×2



RCA オーディオケーブル ×2



取扱説明書 (保証書付き、本書)×1
簡単録音ガイド ×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に交換をご依頼ください。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

安全にお使いいただくために (続き)

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告　電池に関する警告
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
強制	**長時間使用しないときは電池を取り出しておく** 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
禁止	**炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない** 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

	注意　電池に関する注意
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
禁止	**電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない** 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

USB メモリーについて

⚠ 注 意

USB メモリーの読込み、再生、録音、またはファイルの消去などのアクセス中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

本機で使用できる USB メモリー

- USB フラッシュメモリーのみ使用できます。
- ハードディスクドライブ (HDD)、CD/DVD ドライブなどの USB 接続機器は使用できません。
- 本機では USB メモリーに記録されているファイルをコピー、または移動することはできません。
- 再生可能フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32
- NTFS、HFS、または HFS+ フォーマットは使用できません。
- 再生可能な最大フォルダー数：255
- 再生 / 録音可能な最大ファイル数：999
- 全ての USB メモリーでの動作を保証するものではありません。
- CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

USB メモリーへの録音

本機では、CD やカセットテープ、または接続した外部入力機器 (チューナーなど) の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。
録音方法は、30 ページをご覧ください。

MP3 について

本機は CD-R/CD-RW や USB メモリーに記録された MP3 ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット
  MP3 (拡張子「.mp3」)
  ビットレート 8k ～ 320kbps
  サンプリング周波数　16k ～ 48kHz
  ※ DRM(Digital Rights Management) には対応していません。
- フォルダーの階層は 8 階層まで対応

ファイル名の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。

- ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生はできますが、ディスプレーに正しく表示できません。その場合、「✱✱✱✱」と表示されます。

パソコンを使って MP3 ファイルを作成する際の注意

- ISO9660 規格で記録されていないディスクは再生できません。
- MP3 ファイルの認識はファイル拡張子 (.mp3) で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは認識できません。また、ファイル名に拡張子をつけていても MP3 データ形式でないファイルは再生できません。
- CD-R/CD-RW への記録後は、クローズセッション (ディスクの作成を完了) してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大ファイル数は 999、最大フォルダー数は 255 です。最大数を超えて記録されている場合は、1000 番目以降のファイルや 256 番目以降のフォルダーは正しく再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れたりすることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio（コンパクト ディスク デジタル オーディオ）」ロゴマークのあるCD(12cm/8cm)

- ロゴマークは、ディスクレーベルやパッケージに表示してあります。

音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。
または、MP3 ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオ CD、CD-ROM などはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- スーパーオーディオ CD は本機で読込み・再生ができません。
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-ROM などは本機で読込み・再生ができません。

⚠ **DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどをディスクトレーに入れると、ディスクを読み込もうとして高速回転します。万が一これらのディスクを入れてしまった場合は、ディスクを傷つけるおそれがありますので、必ず回転が終わってから取り出してください。(「READING」の表示中には取り出さないでください)**

- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

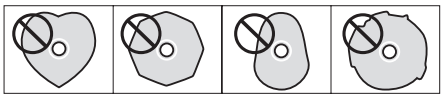
CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) と MP3 フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

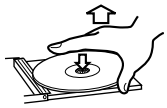
使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタル CD のシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音 / 再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号録音面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、録音 / 再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

本機で再生できるカセットテープ

ノーマル (タイプⅠ)　クローム (タイプⅡ)
メタル (タイプⅣ)

本機で録音できるカセットテープ

ノーマル (タイプⅠ)　クローム (タイプⅡ)

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。

保存上の注意

- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。
- ホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での保存は避けてください。

使用を避けたいカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作をしないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

変形したカセットテープなど

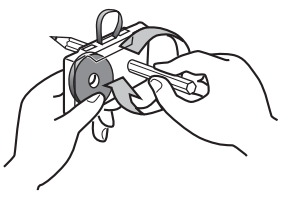
カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

90 分より長いテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがありますので、ご使用にならないでください。

テープの「たるみ」

テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。

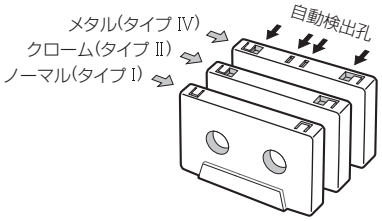


次のページに続きます

カセットテープについて（続き）

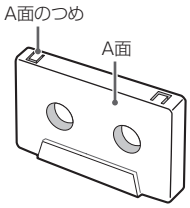
自動検出孔について

本機のカセットデッキはカセットテープの自動検出孔によってテープの種類を自動検出します。自動検出孔のあるカセットテープをお使いください。



誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットの A 面、B 面用にそれぞれあります。
ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が働いて録音ができなくなります。



- 再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。その際にテープ自動検出孔はふさがないようご注意ください。

お手入れ

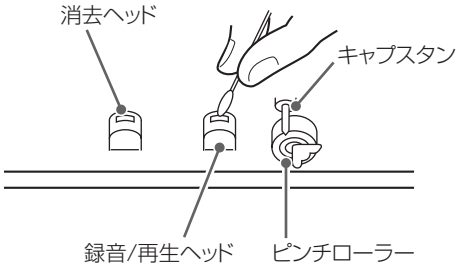
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

カセットデッキのクリーニングと消磁

クリーニング

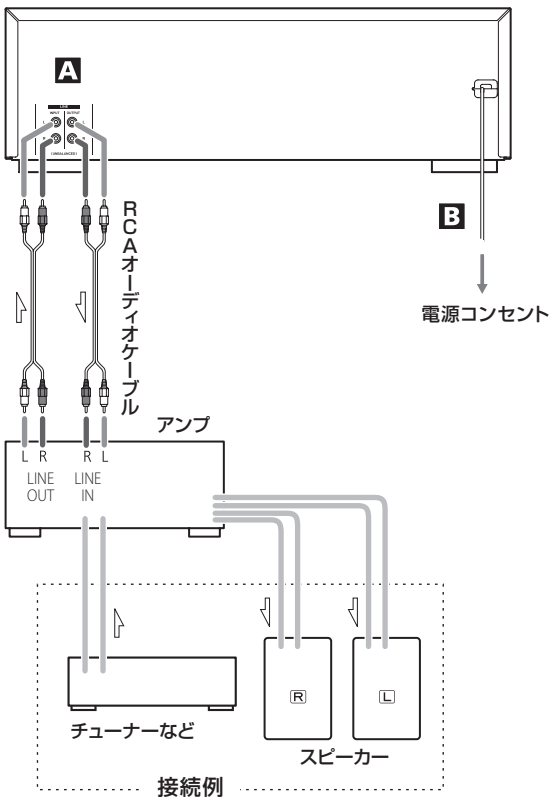
ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。
約 10 時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。



- ヘッドのクリーニング液が乾いてから、カセットテープをセットしてください。

接　続

AD-850 (背面)



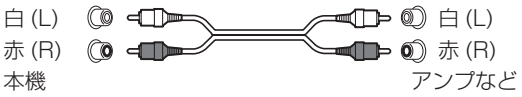
⚠ **全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。**

- **接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**
- **ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。**

A アナログ音声入出力端子 (LINE IN/OUT)

ステレオアンプ、ミキサーなどを本機のアナロ音声入出力端子に接続します。

接続には付属または、市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。
本機の R 端子と音声出力機器の R 端子、本機の L 端子と音声出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。



B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ **注意**

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

電源オン / オフの注意

AD-850 にアンプを接続した際は、必ず以下の順番で電源のオン / オフを行ってください。

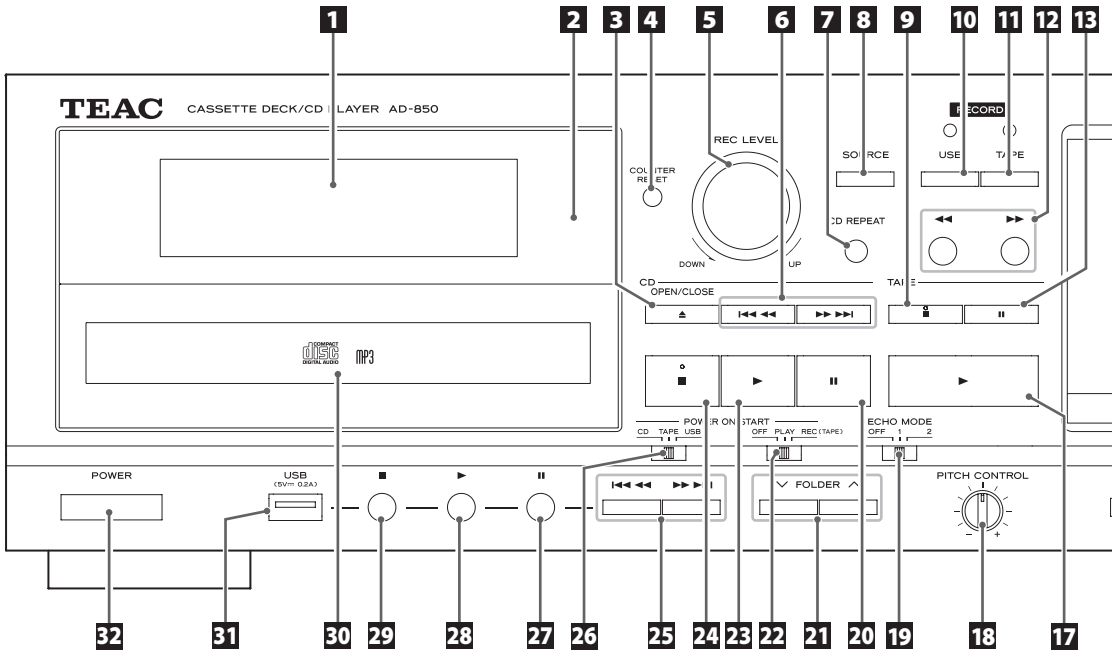
電源オン時

1. AD-850
2. アンプ

電源オフ時

1. アンプ
2. AD-850

各部の名前とはたらき (本体)



1 ディスプレー

曲数や再生時間などが表示されます。(16 ページ)

2 リモコン受光部

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

3 CD 開閉ボタン (▲)

ディスクトレーを開閉します。

4 TAPE カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)

ディスプレーのテープカウンターを「0000」にリセットします。

5 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL)

録音レベルの調節に使います。

6 CD スキップ (I◄◄ / ►►I)/ サーチ (◄◄/►►) ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り / 早戻しができます。

7 CD USB リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使います。(22 ページ)

8 入力切換ボタン (SOURCE)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。(18 ページ)

9 TAPE 停止ボタン (■)

カセットテープの再生を停止します。
また、カセットテープへの録音を停止するのに使います。

10 USB 録音ボタン (RECORD USB)

USB メモリーに録音をするときに使います。一度押すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(30 ページ)
録音中に押すと、そこで録音ファイルが分割されます。(32 ページ)

11 テープ録音ボタン (RECORD TAPE)

カセットテープに録音をするときに使います。一度押すと録音録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(33 ページ)

12 TAPE 早送り / 巻戻しボタン (◄◄/►►)

カセットテープの早送り / 巻戻しに使います。

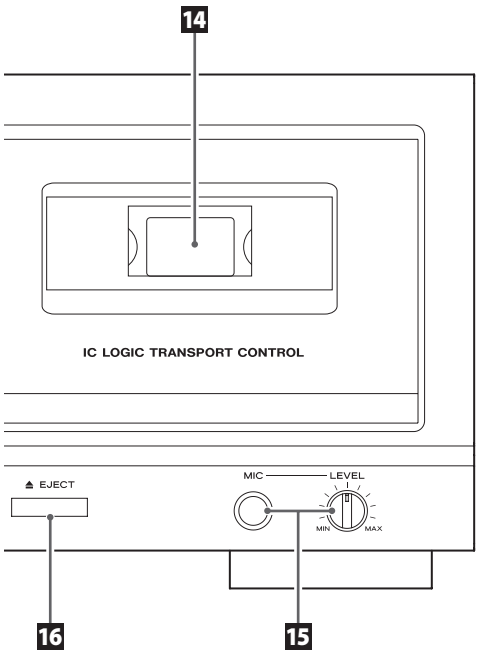
13 TAPE 一時停止ボタン (❚❚)

カセットテープの再生 / 録音を一時停止します。
もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

14 TAPE カセットホルダー

15 マイク端子 (MIC)/ マイクレベルつまみ (LEVEL)

マイクを使用して録音する時は、この端子にマイクのプラグを差し込み、つまみを回して適切なレベルに調節してください。(36 ページ)
本機はステレオマイクには対応しておりません。モノラルのダイナミックマイクをお使いください。マイクを使用しないときは、マイクレベルつまみ (MIC LEVEL) を MIN の位置に設定してください。



16 TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT)

カセットホルダーを開きます。(テープ停止中のみ動作します。)

17 TAPE 再生ボタン (►)

カセットテープを再生します。
カセットテープが一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音が再開します。

18 TAPE ピッチコントロールつまみ (PITCH CONTROL)

カセットテープの再生速度を調節します。(27 ページ)

19 エコーモードスイッチ (ECHO MODE)

エコーモードを切り換えます。(37 ページ)

20 CD 一時停止ボタン (❚❚)

ディスクの再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

21 CD USB フォルダーボタン (∨ FOLDER ∧)

MP3 ファイルが格納されているフォルダーを選びます。(21、29 ページ)

22 タイマー設定スイッチ (POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE))

このスイッチで、タイマーの動作モード (タイマー再生、タイマー録音、またはタイマーオフ) を選びます。
タイマー再生 / 録音をするには、市販のプログラムタイマーを本機に接続してください。(38 ページ)

- タイマー再生 / 録音をしない時には OFF に設定してください。

23 CD 再生ボタン (►)

ディスクを再生します。

24 CD 停止ボタン (■)

ディスクの再生を停止します。

25 USB スキップ (I◄◄ / ►►I)/ サーチ (◄◄ / ►►) ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り / 早戻しができます。

26 ソース設定スイッチ (POWER ON START CD-TAPE-USB)

電源をオンにしたときは、このスイッチで設定してあるソースで起動します。
このスイッチで、タイマー再生 / 録音するものを選びます。(タイマー録音では、カセットテープにのみ録音できます)
タイマー再生 / 録音をするには、市販のプログラムタイマーを本機に接続してください。(38 ページ)

27 USB 一時停止ボタン (❚❚)

USB メモリーの再生 / 録音を一時停止します。もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

28 USB 再生ボタン (►)

USB メモリーを再生します。
USB の録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

29 USB 停止ボタン (■)

USB メモリーの再生を停止します。
また、USB メモリーへの録音を停止するのに使います。

30 CD ディスクトレー

31 USB USB 端子

USB メモリーを接続します。

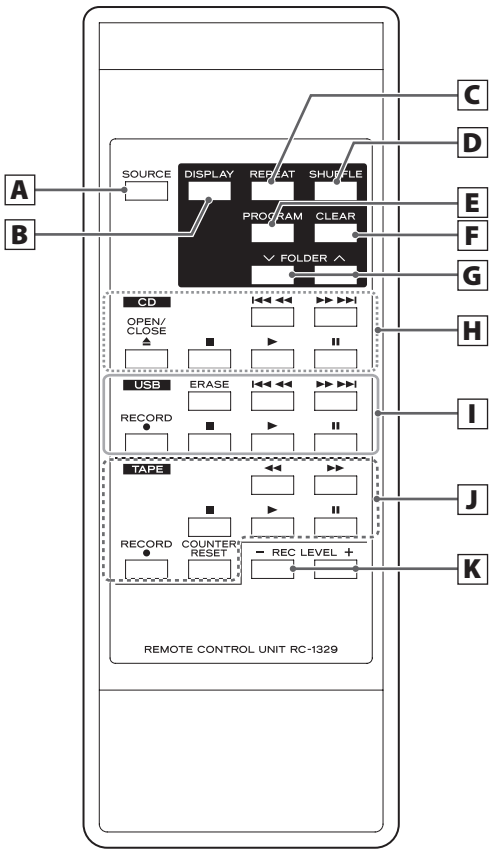
32 電源ボタン (POWER)

電源のオン / オフを切り換えます。

⚠ 注 意

USB メモリーのアクセス中 (読込み、再生、録音、またはファイルの消去中など) には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
本機や USB メモリーの故障の原因になります。

各部の名前とはたらき (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

A 入力切換ボタン (SOURCE)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。(18 ページ)

B CD USB ディスプレーボタン (DISPLAY)

ディスプレーに表示される情報を切り換えます。(17 ページ)

C CD USB リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使います。(22 ページ)

D CD USB シャッフルボタン (SHUFFLE)

シャッフル再生に使います。(21 ページ)

E CD USB プログラムボタン (PROGRAM)

プログラム再生に使います。(23 ページ)

F CD USB クリアボタン (CLEAR)

プログラムを消去するのに使います。(25 ページ)

G CD USB フォルダーボタン (∨ FOLDER ∧)

MP3 ファイルが格納されているフォルダーを選びます。(21、29 ページ)

H CD

スキップ (I◄◄ / ►►I)/ サーチ (◄◄ / ►►) ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り / 早戻しができます。

開閉ボタン (⏏)
ディスクトレーを開閉します。

停止ボタン (■)
ディスクの再生を停止します。

再生ボタン (►)
ディスクを再生します。

一時停止ボタン (❚❚)
ディスクの再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

I USB

削除ボタン (ERASE)
USB メモリーからファイルを削除するのに使います。(32 ページ)

スキップ (I◄◄ / ►►I)/ サーチ (◄◄ / ►►) ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り / 早戻しができます。

録音ボタン (RECORD ●)
USB メモリーに録音をするときに使います。一度押すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(30 ページ)
録音中に押すと、そこで録音ファイルが分割されます。(32 ページ)

停止ボタン (■)
USB メモリーの録音 / 再生を停止します。

再生ボタン (►)
USB メモリーを再生します。
USB の録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

一時停止ボタン (❚❚)
USB メモリーの再生 / 録音を一時停止します。もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

J TAPE

停止ボタン (■)
カセットテープの再生を停止します。
また、カセットテープへの録音を停止するのに使います。

再生ボタン (►)
カセットテープを再生します。
カセットテープの再生 / 録音の一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音を再開します。

一時停止ボタン (❚❚)
カセットテープの再生 / 録音を一時停止します。
もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

注意

- 停止状態のときに一時停止ボタン (❚❚) を押しても一時停止状態にはなりません。

早送り / 巻戻しボタン (◄◄/►►)
カセットテープの早送り / 巻戻しに使います。

録音ボタン (RECORD ●)
カセットテープに録音をするときに使います。一度押すと録音録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(33 ページ)

カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)
ディスプレーのテープカウンターを「0000」にリセットします。

K 録音レベル調節ボタン (– REC LEVEL +)

録音レベルの調節に使います。

リモコンの使い方

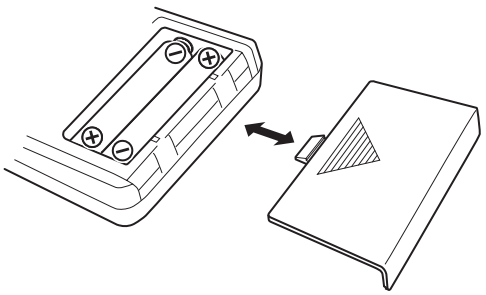
使用上の注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6 ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

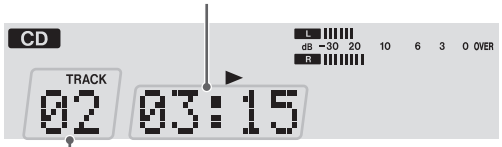
ディスプレー

CD モード

再生中

オーディオ CD

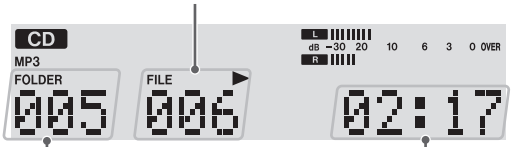
再生中の曲の経過時間 (分/秒)



再生中の曲番

MP3 ディスク

再生中のファイル番号
(フォルダーごとに「001」から始まります)



再生中のフォルダー番号

再生中のファイルの経過時間
(分/秒)

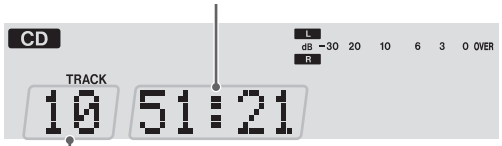


再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

停止中

オーディオ CD

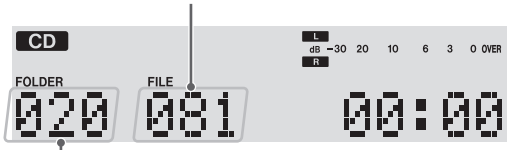
総再生時間



総曲数

MP3 ディスク

総ファイル数



総フォルダー数

TAPE モード



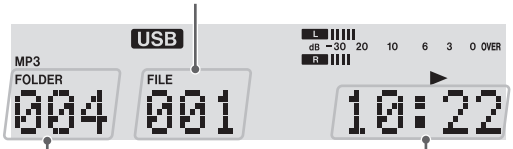
テープカウンター

- テープカウンターはテープのおおよその位置を示すものです。時間の表示ではありません。

USB モード

再生中

再生中のファイル番号
(フォルダーごとに「001」から始まります)



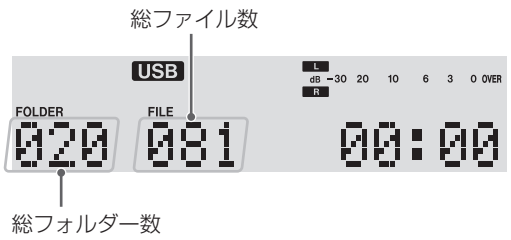
再生中のフォルダー番号

再生中のファイルの経過時間
(分/秒)



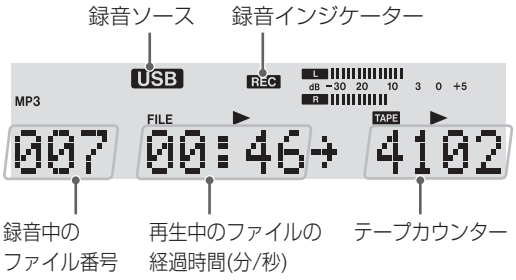
再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

停止中

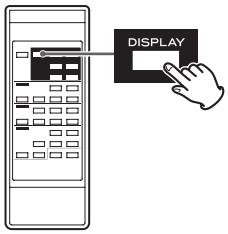


録音中

(例 : USB メモリーからカセットテープに録音中)

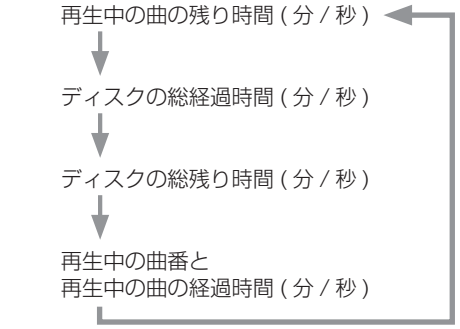


ディスプレーの切換 (CD/USB モード)

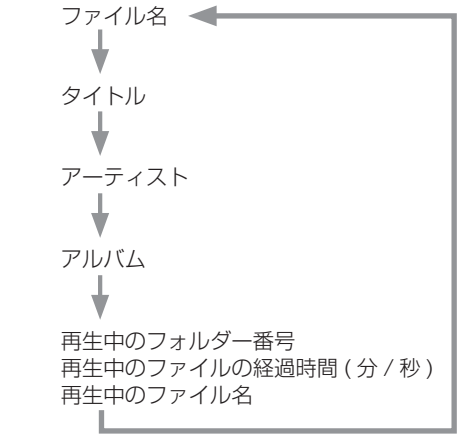


CD モード、または USB モードの再生中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。

オーディオ CD



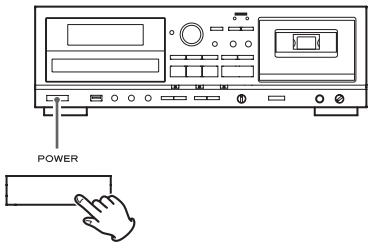
MP3 ディスク /USB メモリー



- 該当する情報がないときは、「No title (タイトルなし)」、「No album (アルバムなし)」、または「No artist (アーティストなし)」が表示されます。
- ファイル情報を読み取れないときは、「✱✱✱✱」と表示されます。
- 本機のディスプレーでは 1 バイトの半角英数字しか正しく表示できません。2バイト文字 (日本語・中国語・韓国語など) や、半角カタカナなどの英数字以外の 1 バイト文字が使われいる場合、再生は可能ですがディスプレーには、「✱✱✱✱」と表示されます。

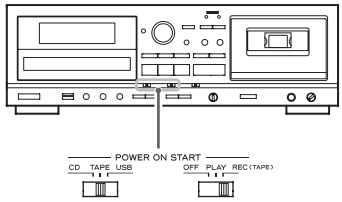
基本操作

電源のオン / オフ



電源をオン / オフするには、電源ボタン (POWER) を押します。
電源がオンになっているときは、ディスプレーが点灯します。

電源をオンにするときは、タイマー設定スイッチ (POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE)) の位置を確認してください。このスイッチの位置によって、動作が違ってきます。

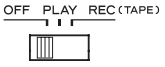


電源オン時に、タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) が「PLAY」または「REC」になっている場合



ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) で設定されている入力ソースが再生 / 録音されます。
タイマー録音では、カセットテープへのみ録音できます。(39 ページ)

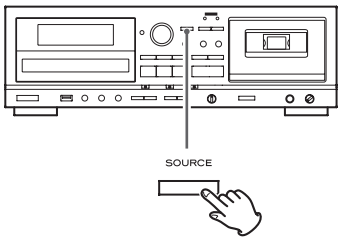
電源オン時に、タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) が「OFF」になっている場合



ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) で設定されている入力ソースのモードで電源がオンになります。

- タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を OFF(オフ) の位置にしておいてください。

入力ソースの切換



入力切換ボタン (SOURCE) を押すたびに、以下のようにモードが切り換わります。

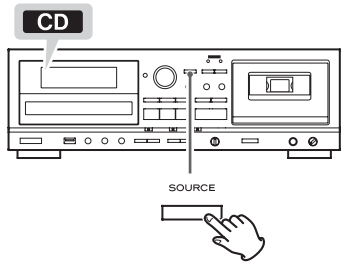
CD → TAPE → USB → LINE

現在のソースは、ディスプレーの左上に表示されます。

- 録音中はソースの切換えはできません。
- それぞれのソースの再生ボタン (►) を押すと、そのソースのモードに切り換わり、再生が始まります。
- 外部接続した機器を使う場合には、「LINE」を選んでください。

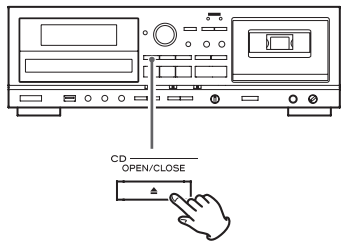
ディスクを聴くには

1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、CD モードを選ぶ。

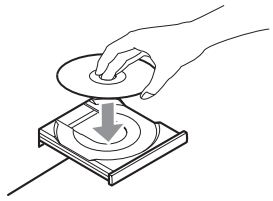


- 他のモードのときに CD 再生ボタン (▶) を押すと、自動的に CD モードに切り換わり、ディスクがセットされているときは再生を始めます。

2 CD 開閉ボタン (▲) を押して、ディスクトレーを開ける。



3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

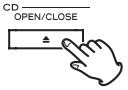


- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

注 意

- 2 枚以上のディスクをセットしないでください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。
- ディスクにはセロハンテープやシール、ラベルなどを貼らないでください
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。

4 開閉ボタン (▲) を押して、トレーを閉める。



⚠ 注 意

指をはさまないよう、ご注意ください。

ディスクの読込みには数秒かかります。

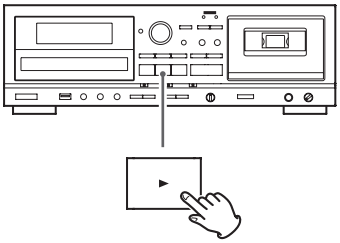
読込み中は「READING」と表示され、ボタンを押しても機能しません。

読み込みが終了すると以下のように表示されます。

ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。

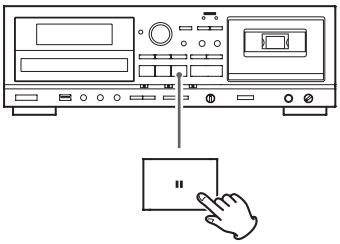
5 CD再生ボタン (▶) を押して、再生を始める。



1 曲目から再生が始まります。

- ディスクをのせたあと、CD 開閉ボタン (▲) を押さずに (トレーを閉めずに)CD 再生ボタン (▶) を押すと、自動的にトレーが閉じてディスクの再生が始まります。
- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- フォルダーに入っていない MP3 ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの 1 曲目から始まります。
- MP3 ディスクの再生順については 40 ページをご覧ください。

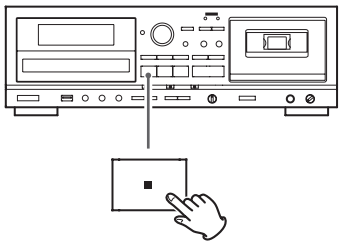
再生を一時停止するには



CD 一時停止ボタン (❚❚) を押すと再生が一時停止します。再び CD 一時停止ボタン (❚❚) を押すか、または CD 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

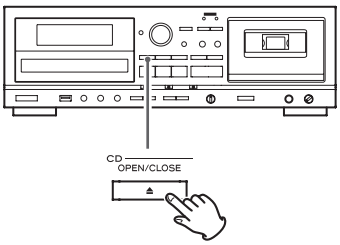
ディスクを聴くには (続き)

再生を停止するには



CD 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

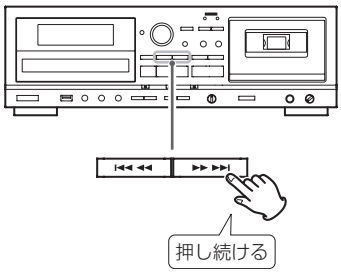
ディスクを取り出すには



CD 開閉ボタン (⏏) を押すと、ディスクトレーが開きます。

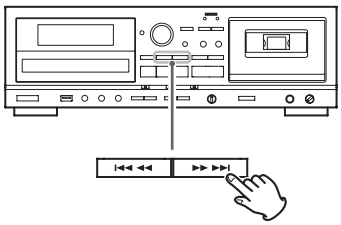
- CD モード以外のときでも、開くことができます。

聴きたい部分を探すには (サーチ)



再生中に CD サーチボタン (◀◀ / ▶▶) を押したままでいると、早送り / 早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

聴きたい曲を探すには (スキップ)



再生中

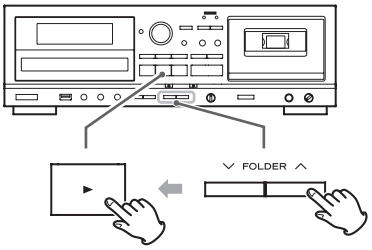
CD スキップボタン (⏮ / ⏭) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、⏮ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を続けて押してください。

停止中または一時停止中

CD スキップボタン (⏮ / ⏭) を押して聴きたい曲を選んだ後、CD 再生ボタン (▶) または CD 一時停止ボタン (⏸) を押して再生を始めてください。

フォルダーを選ぶには (MP3 ディスク)



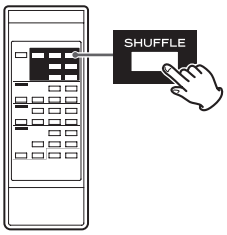
フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン (﹀ FOLDER ﹀) を使います。
CD 再生ボタン (►) を押すと再生が始まります。

CD USB

シャッフル再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。

シャッフルボタン (SHUFFLE) を押すと、シャッフル再生モードになり、CD/USB メモリーの全曲がランダムに再生されます。



シャッフルボタン (SHUFFLE) を押すたびに、シャッフル再生モードのオン / オフが切り換わります。

シャッフル再生中は、ディスプレーに「SHUFFLE」と表示されます。

全ての曲を再生すると、シャッフル再生モードを解除して停止します。

シャッフル再生を中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
  シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。
- 以下のボタンを押すと、シャッフル再生モードは解除されます。

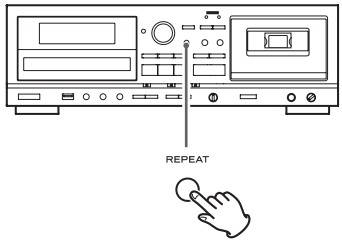
CD モード
電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、CD 開閉ボタン (⏏)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

USB モード
電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

CD USB

リピート再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。



リピートボタン (REPEAT) を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

オーディオ CD

REPEAT 1 → REPEAT ALL → (リピートオフ)

MP3 ディスク

REPEAT 1 → REPEAT ALL → REPEAT FOLDER → (リピートオフ)

- 以下のボタンを押すとリピートモードは解除されます。

CD モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、CD 開閉ボタン (⏏)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

USB モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

REPEAT 1(1曲リピート)

再生中の曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT 1」と表示されます。

- 1 曲リピート再生中に CD/USB スキップボタン (⏮ または ⏭) を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。
- 停止中は、リピートボタン (REPEAT) を押してから CD/USB スキップボタン (⏮ / ⏭) で曲を選び、CD/USB 再生ボタン (▶)、または CD/USB 一時停止ボタン (⏸) を押すと、1 曲リピート再生を始めます。

REPEAT ALL(全曲リピート)

全曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT ALL」と表示されます。

- プログラム再生中は、プログラムした曲をくり返し再生します。

REPEAT FOLDER(フォルダーリピート)
(MP3 ディスクのみ)

選択中のフォルダーの全曲をくり返し再生します。
ディスプレーに「REPEAT FOLDER」と表示されます。

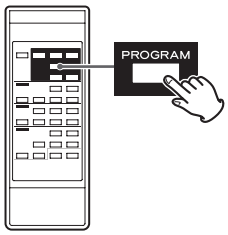
CD USB

プログラム再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。

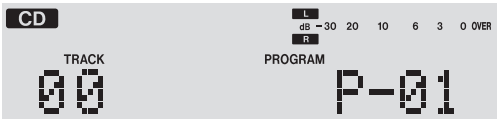
ディスクの中から、再生したい順番に 30 曲までプログラムすることができます。

1 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。



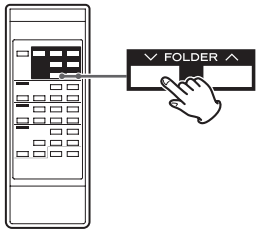
ディスプレーに「PROGRAM」が点滅し、「P-01」と表示されます。

CD モードのときの例：



- プログラムを中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。

2 (MP3 ファイルのプログラムの場合) CD/USB フォルダーボタン (∨ FOLDER ∧) を押してフォルダーを選びます。

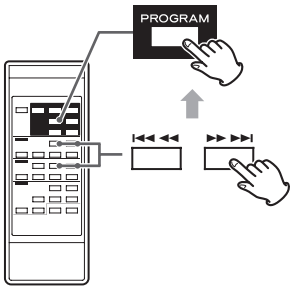


- フォルダーに入っていない MP3 ファイルは、「ROOT」フォルダーに入っています。

メモ

「ROOT」フォルダは最上層のフォルダ階層です。

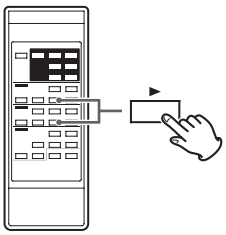
3 CD/USB スキップボタン (I◄◄ または ►►I) を押して曲を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



選択した曲番またはファイルがプログラムされ、「P-02」が表示されます。

- 複数の曲をプログラムするには、**2**～**3** の手順を繰り返してください。
- 30 曲までプログラムすることができます。
- プログラムを中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。
  このとき、プログラムされた内容は残っていますので、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押すと、プログラム再生することができます。

4 プログラムが終わったら、CD/USB 再生ボタン (▶) を押してプログラム再生を始める。



- プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押します。
- プログラム再生中に CD/USB スキップボタン (I◄◄ または ►►I) を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。
- プログラム再生中にシャッフル再生はできません。
- プログラム再生中に REPEAT 1、REPEAT ALL 再生ができます。REPEAT ALL ではプログラムした曲をくり返し再生します。

プログラム再生 (続き)

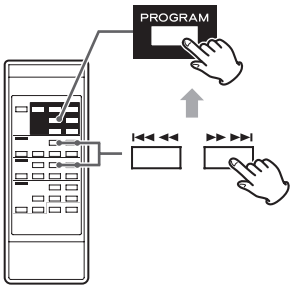
プログラムの最後に曲を追加するには

停止中に、「TRACK 00」が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。





CD/USB スキップボタン (I◄◄ または ►►I) で追加したい曲番を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押します。

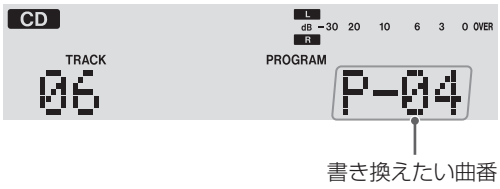


選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

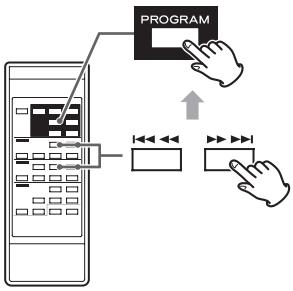
プログラムの一部を書き換えるには

停止中に、書き換えたい曲番が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。





CD/USB スキップボタン (I◄◄ または ►►I) で新しく上書きしたい曲番を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押します。



選択した曲番に書き換えられます。

プログラムの順番をチェックするには

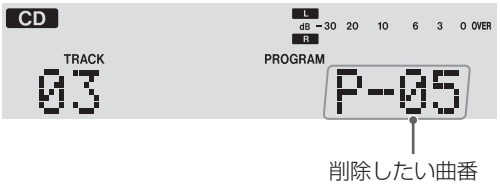


停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

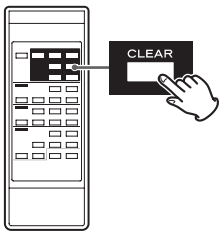
プログラムの一部を消去するには



停止中に、削除したい曲番が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。



クリアボタン (CLEAR) を押します。



選択した曲番がプログラムから消去されます。

全てのプログラム内容を消去するには

(例)



停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、クリアボタン (CLEAR) または CD/USB 停止ボタン (■) を 1 秒以上押してください。
ディスプレーの「PROGRAM」インジケーターが消え、全てのプログラム内容が消去されます。

- 「PROGRAM」インジケーターが表示されていないときは、プログラムボタン (PROGRAM) を押して、プログラムモードに切り換えてから消去してください。
- 以下のボタンを押しても、全てのプログラム内容が消去されます。

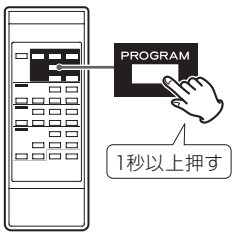
CD モード

電源ボタン (POWER)、CD 開閉ボタン (⏏)
入力切換ボタン (SOURCE)

USB モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)

プログラムモードをやめるには



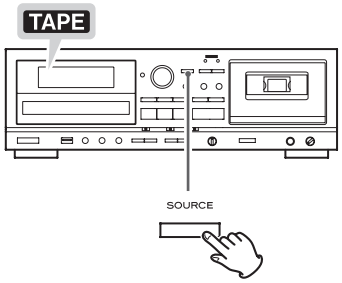
停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を 1 秒以上押し続けるか、ストップボタンを押します。「PROGRAM」インジケーターが消えて通常のモードに戻ります。

- この操作ではプログラム内容は消去されません。プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押すと、プログラム再生することができます。

カセットテープを聴くには

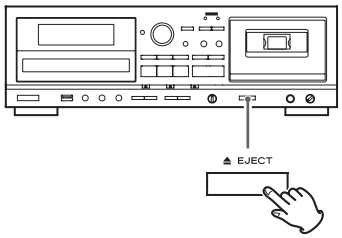
本機では、ノーマル (タイプ Ⅰ)、クローム (タイプ Ⅱ)、またはメタル (タイプ Ⅳ) のテープを再生することができます。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、TAPE モードを選ぶ。

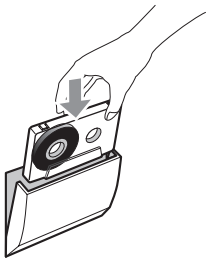


- 他のモードのときにカセットテープの再生を始めると、自動的に TAPE モードに切り換わります。

2 TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押して、カセットホルダーを開ける。



3 カセットを入れる。

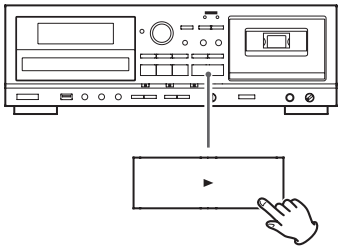


テープが露出している部分を下に、再生したい面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

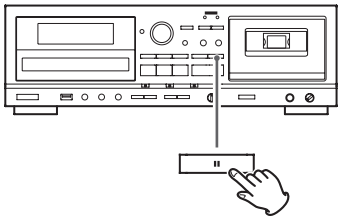
注意

- 変形したり、たるんだりしたテープを使わないでください。テープがからまり、カセットテープが取り出せなくなる可能性があります。
- カセットホルダーを開けるときは、手で無理やり開けないでください。
  故障の原因となります。

4 TAPE 再生ボタン (▶) を押して再生を始める。

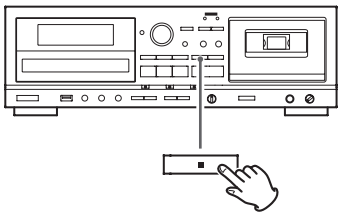


再生を一時停止するには



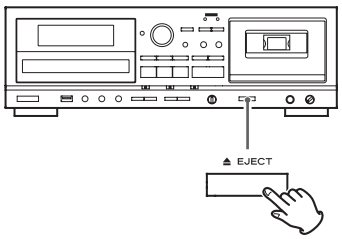
TAPE 一時停止ボタン (❚❚) を押すと再生が一時停止します。再び TAPE 一時停止ボタン (❚❚) を押すか、または TAPE 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生を停止するには



TAPE 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

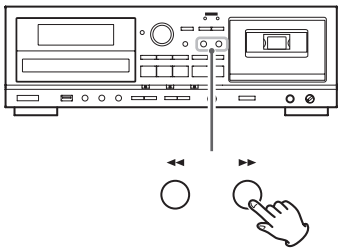
カセットテープを取り出すには



カセットテープの停止中に、TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押してカセットホルダーを開き、取り出します。

- 再生中は、TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押さないでください。
- TAPE モード以外のときでも、カセットホルダーを開くことができます。

早送り / 巻戻しするには



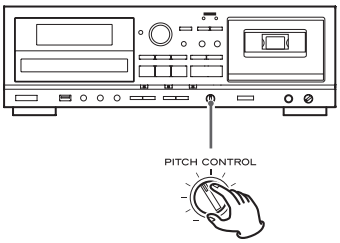
早送りボタン (►►)、巻戻しボタン (◄◄) を押します。

テープの最後まで早送り / 巻戻しすると、停止します。途中で止めたいときは、TAPE 停止ボタン (■) を押します。

- CD/USB/LINE モードのときでも早送り / 巻戻しできますが、録音中はできません。

ピッチコントロール

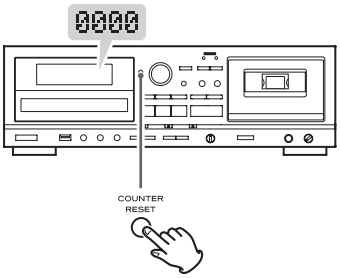
カセットテープの再生時にピッチ（音程）を変えることができます。



ピッチコントロールつまみを右に回すと、テープ走行速度が最大 10% まで速くなり、音程が上がります。
左に回すと、テープ走行速度が最大 10% 遅くなり、音程が下がります。

- テープへの録音中にこの操作はできません。
- 通常は 12 時の位置に設定してください。

テープカウンター



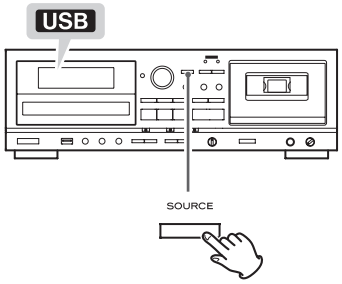
カウンターリセットボタン (COUNTER RESET) を押すと、テープカウンターが "0000" にリセットされます。
テープの特定の位置を見つけるのに便利な機能です。

USB メモリーを聴くには

⚠ 注 意

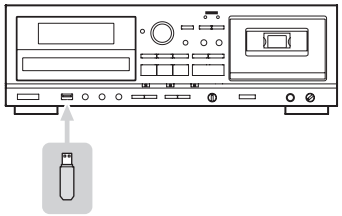
USB メモリーのアクセス中 (読込み、再生、録音、または ファイルの消去中など) には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
本機や USB メモリーの故障の原因になります。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、USB モードを選ぶ。



- 他のモードのときに USB メモリーの再生を始めると、自動的に USB モードに切り換わります。

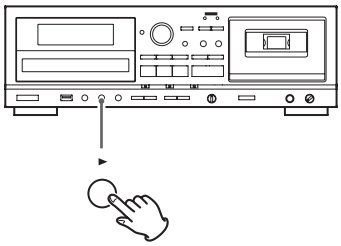
2 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。



USB メモリーの読込みには、数秒かかります。
特に大容量の USB メモリーの場合に時間がかかることがあります。
読込み中は「READING」と表示され、ボタンを押しても機能しません。

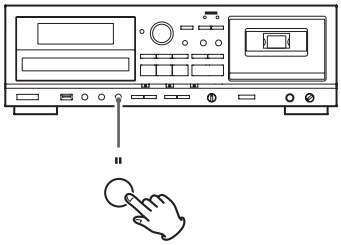
- USB メモリーに MP3 ファイルが記録されていない場合は、「NO MUSIC FILE(ミュージックファイルなし)」と表示されます。

3 USB 再生ボタン (▶) を押して、再生を始める。



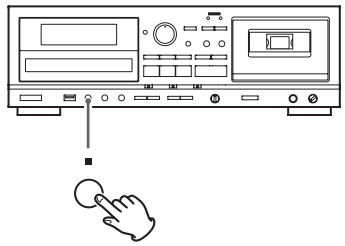
- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- フォルダーに入っていない MP3 ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの 1 曲目から始まります。
- MP3 ファイルの再生順については 40 ページをご覧ください。

再生を一時停止するには



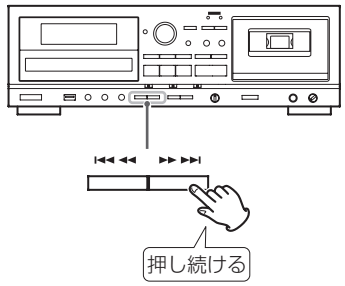
USB 一時停止ボタン (❚❚) を押すと再生が一時停止します。
再び USB 一時停止ボタン (❚❚) を押すか、または USB 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生を停止するには



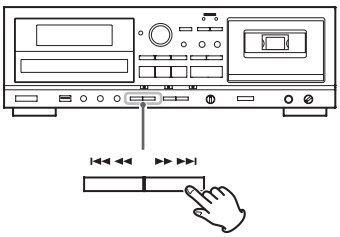
USB 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

聴きたい部分を探すには (サーチ)



再生中に USB サーチボタン (◀◀ / ▶▶) を押したままでいると、早送り / 早戻しができます。押し続けると、サーチのスピードが変わります。
聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

聴きたい曲を探すには (スキップ)

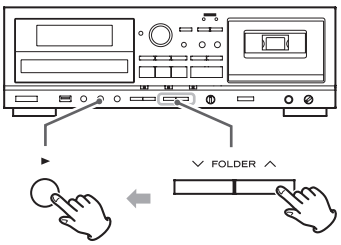


再生中
USB スキップボタン (I◀◀ / ▶▶I) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、I◀◀ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◀◀ を続けて押してください。

停止中または一時停止中
USB スキップボタン (I◀◀ / ▶▶I) を押して聴きたい曲を選んだ後、USB 再生ボタン (▶) または USB 一時停止ボタン (❚❚) を押して再生を始めてください。

フォルダーを選ぶには



フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン (﹀ FOLDER ﹀) を使います。
USB 再生ボタン (▶) を押すと再生が始まります。

リピート、シャッフル、プログラム再生

USB モードでは、リピート、シャッフル、プログラム再生ができます。以下のページをご覧ください。

リピート再生 ➡ 22 ページ
シャッフル再生 ➡ 21 ページ
プログラム再生 ➡ 23 ページ

CD TAPE LINE → USB

USB メモリーに録音するには

本機では、CD やカセットテープ、接続した外部入力機器の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。

- 本機にはカセットテープへの録音機能もありますが、USB とカセットテープに同時に録音をすることはできません。
- USB メモリーによっては正常に録音できない場合があります。その場合は別の USB メモリーでお試しください。
- タイマー録音では、USB への録音はできません。
- 本機に接続したマイクの音をミキシングして録音することができます。(36 ページ)
- CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

⚠ 注 意

USB メモリーの録音中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
本機や USB メモリーの故障の原因になります。

録音される MP3 ファイルについて

- 録音すると、「RECORD」フォルダと、その中にそれぞれのソースの名前のついたサブフォルダー(「CD」、「TAPE」、または「LINE」)が自動的に生成されます。そのサブフォルダー中に MP3 形式のファイルができます。
- ファイル名は、末尾に自動的に順番の数字が付けられ記録されます。

CD からの録音の場合

「CD001.MP3」、「CD002.MP3」.....
(すでに USB メモリーのフォルダーに「CD004.MP3」と「CD009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに記録されるファイル名は「CD010.MP3」となります)

カセットテープからの録音の場合

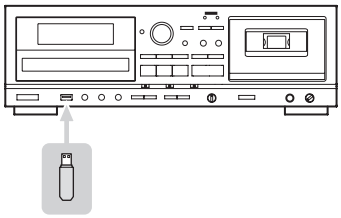
「T001.MP3」、「T002.MP3」.....

外部入力機器からの録音の場合

「L001.MP3」

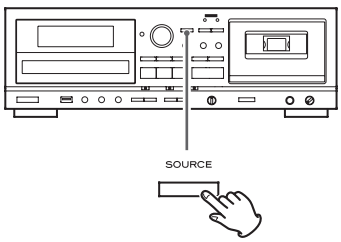
- テープと外部入力機器からの録音では、録音中に手動でファイルを分割することができます。(32 ページ)
  その場合のファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。(例えば、「T001.MP3」を 2 つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP」になります)
- 本機では 999 ファイルまで記録することができます。ただし、USB メモリーにすでにファイルがある場合、そのファイル数と合わせて 999 ファイルまで録音可能です。
- 1 つのファイルの録音時間は最長 240 分までです。
- 本機では、ビットレートが 128kbps の MP3 に変換して USB メモリーに録音します。

1 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。

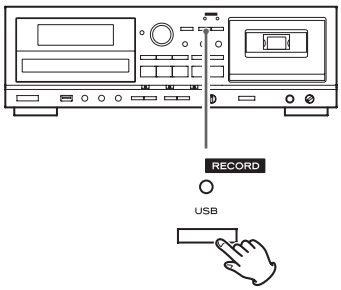


- USB メモリーの空き容量がない場合や、USB メモリーがロックされている場合は録音できません。
- 本機で USB メモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめ USB メモリーの容量をパソコンで確認してください。

2 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、TAPE、または LINE)



3 USB 録音ボタン (RECORD USB) を押して、録音待機状態にする。



USB 録音ボタン (RECORD USB) の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの REC が点滅します。

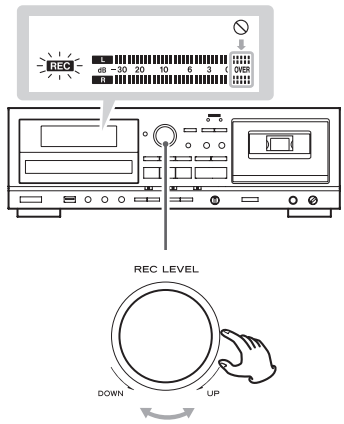
- USB 記録の準備には数秒かかります。
  特に大容量の USB メモリーの場合に時間がかかることがあります。
  準備中は「Record prepare」と表示され、ボタンを押しても機能しません。
- 録音を停止するには、USB 停止ボタン (■) を押します。

4 (カセットテープ、または外部入力機器からの録音の場合) 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソース(カセットテープ、または外部入力機器)を再生する。

2. 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが「OVER」に達しないように調節します。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。
- CD からの録音では、録音レベルは調節できません。

5 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合

ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については 23 ページをご覧ください。

カセットテープから録音する場合

テープの全ての内容を録音するときは、テープを始めの位置まで巻き戻しておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で停止または一時停止状態にしておきます。

外部入力機器から録音する場合

外部入力機器の再生を準備します。

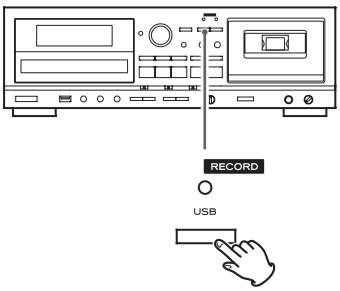
例
アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

6 USB 録音ボタン (RECORD USB) を押して、録音を開始する。

外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。

録音ソースが CD またはテープの場合は自動的にソースの再生が開始されます。

- USB 一時停止ボタン (❚❚) または、USB 再生ボタン (▶) を押しても録音を開始します。



USB 録音ボタン (RECORD USB) の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの REC の点滅が止まります。

- 録音の途中で USB メモリー空き容量がなくなると、録音は停止します。
- 録音を一時停止するには、USB 一時停止ボタン (❚❚) を押します。もう一度押すと録音を再開します。
  USB 録音ボタン (RECORD USB) または USB 再生ボタン (▶) を押した場合にも録音を再開します。
  また、録音ソースが CD またはテープの場合にはソースの再生ボタンを押すことでも録音を再開できます。
- 本機に接続したマイクの音をミキシングして録音することができます。(36 ページ)
- CD から USB メモリーへ録音する場合は、マイクの音をミキシングして録音することができません。

次のページに続きます

USB メモリーに録音するには (続き)

CDまたはカセットテープから録音する場合

ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。
録音を途中で停止するには、USB 停止ボタン (■) を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

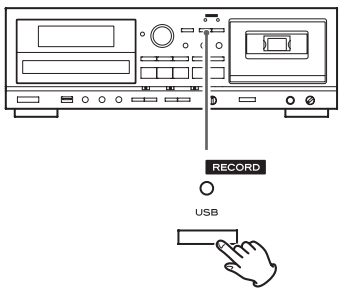
- CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの 種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

外部入力機器から録音する場合

ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。USB 停止ボタン (■) を押して録音を停止してください。

手動ファイル分割

テープと LINE からの録音中には、録音する MP3 ファイルを、手動で分割することができます。
CD からの録音では、分割はできません。(CD からの録音は自動的にトラックごとに分割されます)



録音中に、分割したいところで USB 録音ボタン (RECORD USB) を押すと、録音中のファイルが分割されます。
ファイル分割は 10 数秒かかります。

- 分割中は、ディスプレーに「File increment」と表示されます。
- USB 停止ボタン (■) を押すと「Record Ending」と表示されます。

カセットテープからの録音の場合
ファイル分割の間、カセットテープが止まりますが、録音の途切れはほとんど生じません。

外部入力機器からの録音の場合
ファイル分割の間、録音が途切れます。

- すでに録音されている MP3 ファイルを分割することはできません。この機能は録音中にのみ使うことができます。
- 分割したファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。

例
「T001.MP3」を2つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP3」となります。

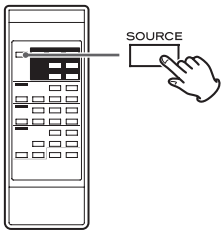
USB メモリーからファイルを消去するには

⚠ 注 意
USB メモリーのファイルの消去中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

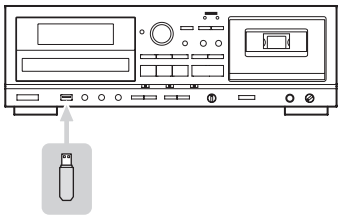
全てのファイルを消去するには

⚠ 注 意
この操作をすると、USB メモリーから全ての内容が消去されます。また、音楽ファイル以外のファイルも消去されます。操作の前に消去してよいかを確認してください。

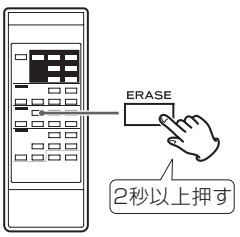
1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、USB モードを選ぶ。



2 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。



3 消去ボタン (ERASE) を 2 秒以上押す。



ディスプレーに「Erase all?(全て消去 ?)」と表示されます。

4 6 秒以内に消去ボタン (ERASE) を押す。

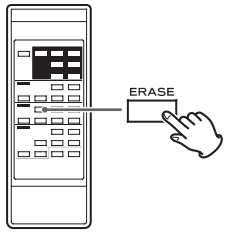


USB メモリーから全ての記録されていた内容が消去されます。
ディスプレーに「NO MUSIC FILE」と表示されます。

ファイルを 1 つずつ消去するには

1 消去したいファイルを選択する。(29 ページ)

2 消去ボタン (ERASE) 押す。



ディスプレーに「Erase File?(ファイルを消去 ?)」と表示されます。

3 6 秒以内に消去ボタン (ERASE) を押す。



ディスプレーに「Erasing」と表示されます。
再生中のファイルが消去され、再生が停止します。

CD USB LINE → TAPE

カセットテープに録音するには

本機では、CD や USB メモリー、または接続した外部入力機器の音声をカセットテープに録音することができます。ノーマル (タイプ Ⅰ)、またはクローム (タイプ Ⅱ) のテープに録音することができます。メタル (タイプ Ⅳ) には本機では録音できません。

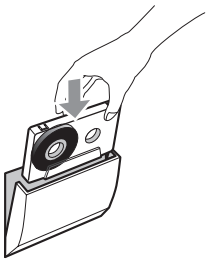
- 本機に接続したマイクの音をミキシングして録音することができます。(36 ページ)
- 本機には USB メモリーへの録音機能もありますが、カセットテープと USB に同時に録音をすることはできません。

⚠ 注 意

録音中には、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
本機や接続した機器の故障の原因になります。

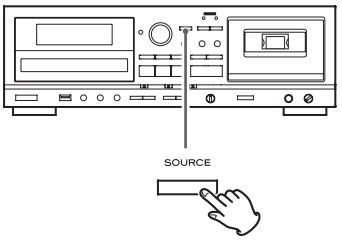
1 カセットホルダーにカセットテープを入れる。

EJECT ボタン (▲) を押すとカセットホルダーが開きます。
テープが露出している部分を下に、録音する面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。



- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

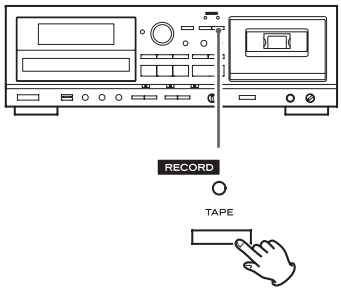
2 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、USB、または LINE)



次のページに続きます →

カセットテープに録音するには (続き)

3 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音待機状態にする。



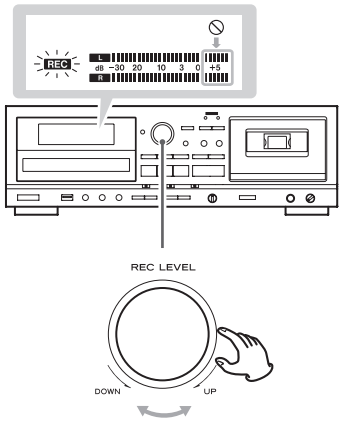
テープ録音ボタン (RECORD TAPE) の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの **REC** が点滅します。

- 録音を停止するには、TAPE 停止ボタン (■) を押します。

4 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソースを再生する。
2. 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

5 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合

ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については 23 ページをご覧ください。

USBメモリーから録音する場合

USB メモリーの全ての曲を録音するときは、最初の曲の頭で停止状態にしておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。
プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については 23 ページをご覧ください。

- MP3 ファイルの再生順については 40 ページをご覧ください。

外部入力機器から録音する場合

外部入力機器の再生を準備します。

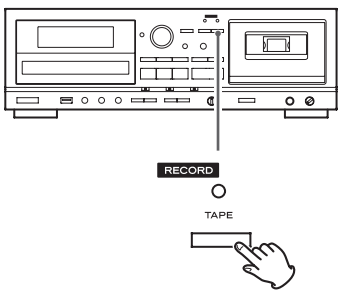
例
アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

6 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音を開始する。

外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。

録音ソースが CD または USB メモリーの場合は自動的にソースの再生が開始されます。

- TAPE 一時停止ボタン (❚❚) または、TAPE 再生ボタン (▶) を押しても録音を開始します。



テープ録音ボタン (RECORD TAPE) の上の赤いインジケーターと、ディスプレーの **REC** の点滅が止まります。

● 録音を一時停止するには、TAPE 一時停止ボタン (❚❚) を押します。もう一度押すと録音を再開します。

テープ録音ボタン (RECORD TAPE) または TAPE 再生ボタン (▶) を押した場合にも録音を再開します。
また、録音ソースが CD または USB の場合にはソースの再生ボタンを押すことでも録音を再開できます。

CDまたはUSBメモリーから録音する場合

ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。
録音を途中で停止するには、TAPE 停止ボタン (■) を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

外部入力機器から録音する場合

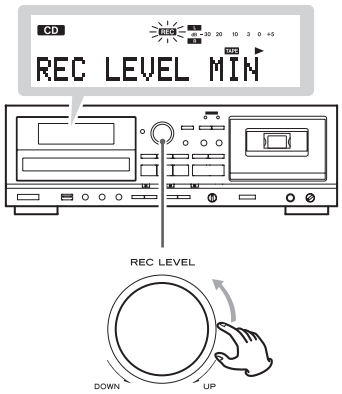
ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。TAPE 停止ボタン (■) を押して録音を停止してください。

録音を消去するには

録音すると、以前カセットテープに録音されていた内容は上書きされます。
録音レベルを最小 (MIN) にして録音をすることによって、録音内容を消去することができます。

1 **テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音待機状態にする。**

2 **録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を最小 (MIN) に合わせる。**



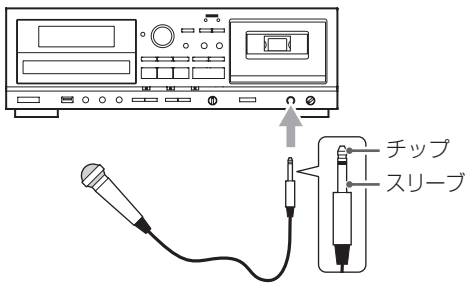
3 **テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、消去を開始する。**

マイクミキシング再生 / 録音

入力ソースが USB、LINE、TAPE のとき、本機に接続したマイクの音をミキシングして再生 / 録音することができます。
マイクの音のみ再生 / 録音することもできます。
マイクの音確認は、本機とアンプを接続し、アンプからの音を聞いて確認してください。

マイクの接続

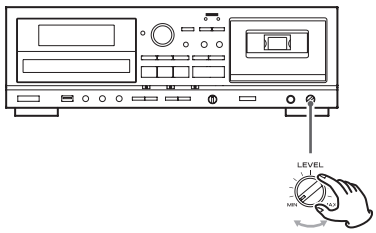
マイクは、モノラルのダイナミックマイクをお使いください。本機は、電源の供給が必要なタイプのマイクおよびステレオマイクには対応しておりません。



フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続してください。

- マイクを接続するとき、またはマイクを使用しないときは、マイクレベルつまみ (MIC LEVEL) を MIN の位置に設定してください。
- マイクの音声は、電源オンから約 5 秒後に出力されます。

マイクミキシング再生



マイクの音を出しながら、マイクレベルつまみ (MIC LEVEL) を回して、レベルを調節してください。

- MIN が最小、MAX が最大の音量になります。
- CD/USB/TAPE/LINE のすべてのソースに MIC 音声をミックスして出力することが可能です。

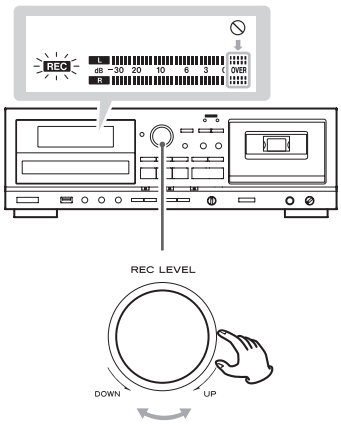
マイクミキシング録音

本機は、カセットテープと USB メモリーに録音することができます。

フロントパネルのマイク端子 (MIC) にマイクのプラグを接続し、録音の手順 (30 ページ、33 ページ) に従って録音してください。
録音の手順の「録音レベルを調節する」では、以下のようにソースとマイクの両方のレベルを調節してください。

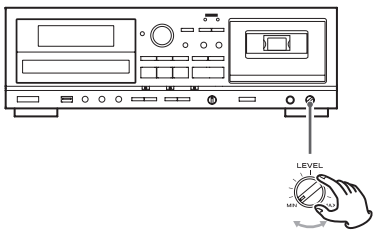
1 ソースのレベルを調節する。

USB 録音時の表示例



ソースを再生し、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) で録音レベルを少し低めに調節します。

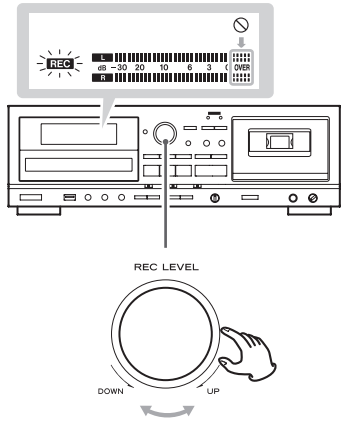
2 マイクのレベルを調節する。



マイクの音を出しながら、マイクレベル調節つまみ (MIC LEVEL) で、ソースとマイクの音のバランスを調節します。

3 全体のレベルを調節する。

USB 録音時の表示例



ソースを再生し、マイクの音を出しながら、録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) で最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。

調整が終わったら、次の手順に進んでください。

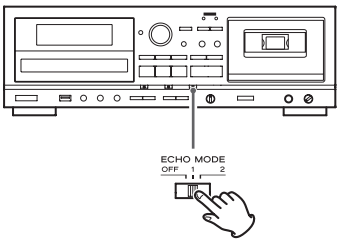
- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。
- マイクの音は左右同じレベルで分配され、中央に定位します。
- マイクの録音時は、ハウリングを防止するためにスピーカーの音量を下げたり、マイクをスピーカーに近づけないよう十分配慮してください。
- CD から USB へ録音する場合、マイクの音は録音されません。
- マイクを使用しないときは、マイクレベルつまみ (MIC LEVEL) を MIN の位置に設定してください。

ハウリングとは

スピーカーから出た音がマイクに帰還して発振する現象。「ピー」という大きな音が出るため、場合によりスピーカーを破損することがある。

エコーモード

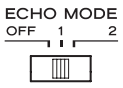
エコーモードスイッチ (ECHO MODE) を切り換えると、マイク入力にエコーをかけることができます。



OFF
エコーなし

1
エコーあり (小)

2
エコーあり (大)



エコーモードスイッチ

- エコーは、マイク入力のみに加えられ、その他のアナログ音声入力には加えられません。
- CD/USB/TAPE/LINE のすべての入力ソースに MIC 音声をミックスして出力することが可能です。

エコーとは

原音に対して残響を加えます。原音を様々な時間で遅延させた複数の音を自然に近い対時間減衰特性を持たせて混ぜることにより、ホールやスタジオのような残響音を生み出します。

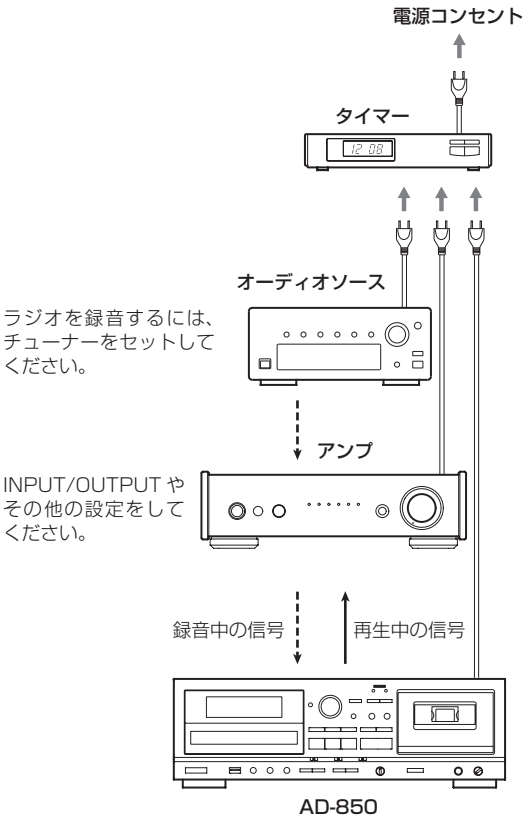
タイマー再生 / 録音

市販のプログラムタイマーを接続して、設定した時間に再生や録音を開始することができます。

- タイマー再生のソースは、CD、TAPE、USB メモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。
- タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

接 続

下図を参考に、機器を接続してください。



⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- **接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**
- **ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。**

タイマー再生（CD USB TAPE）

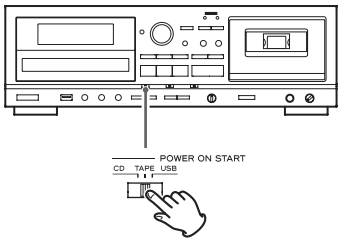
- タイマー再生のソースは、CD、TAPE、USB メモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

1 前項の接続図を参考にして、AD-850 と機器を市販のプログラムタイマーに接続する。

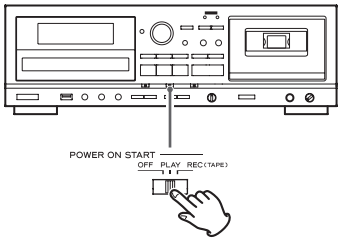
2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマー再生したいソースをセットする。

4 ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) を再生したいソースにセットする。



5 タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を「PLAY」にセットする。



AD-850 のディスプレーに「TIMER」と表示されます。

6 プログラムタイマーのオン / オフの時間を設定する。

プログラムタイマーの設定を終了すると、プログラムタイマーに接続したすべての機器の電源がオフになります。

このとき、AD-850 の電源ボタン (POWER) を押さないでください。

電源ボタンは押されたままの状態 (オンの位置) にしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー再生は動作しません。

タイマーオンの時間になると、電源が接続した機器に供給され、再生が始まります。

- タイマーを使わないときは、タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を OFF(オフ) にセットしてください。

タイマー録音 (LINE → TAPE)

- タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

(例 : ラジオ放送のタイマー録音)

1 前のページの接続図を参考にして、AD-850 と機器を市販のプログラムタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

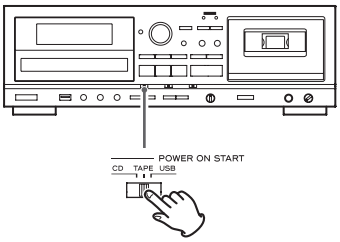
3 タイマーで録音したいカセットテープをセットする。

消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

ノーマル (タイプ Ⅰ)、またはクローム (タイプ Ⅱ) のテープに録音することができます。

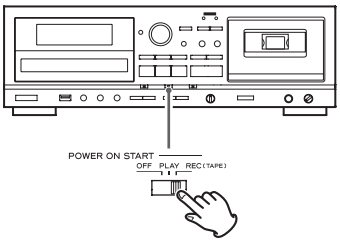
ご注意
カセットテープは、録音する面を手前にして入れてください。
裏表を間違えて、大切な録音を誤って消してしまわないようご注意ください。

4 ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) を「TAPE」にセットする。



- USB メモリーには録音できません。カセットテープにのみ録音できます。

5 タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を「REC」にセットする。



AD-850 のディスプレーに「TIMER」と REC インジケーターが表示されます。

- ソース設定スイッチの設定が「TAPE」以外に設定されていると、「INVALID」(無効) と表示されタイマー録音ができません。

6 録音したい放送局を選局する。

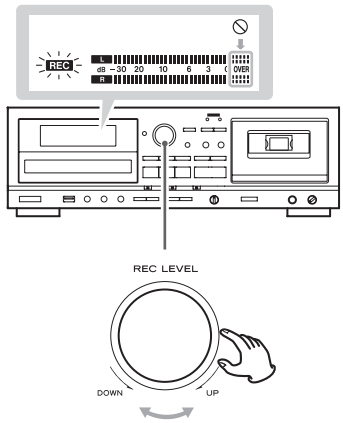
次のページに続きます →

タイマー再生 / 録音 (続き)

7 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。



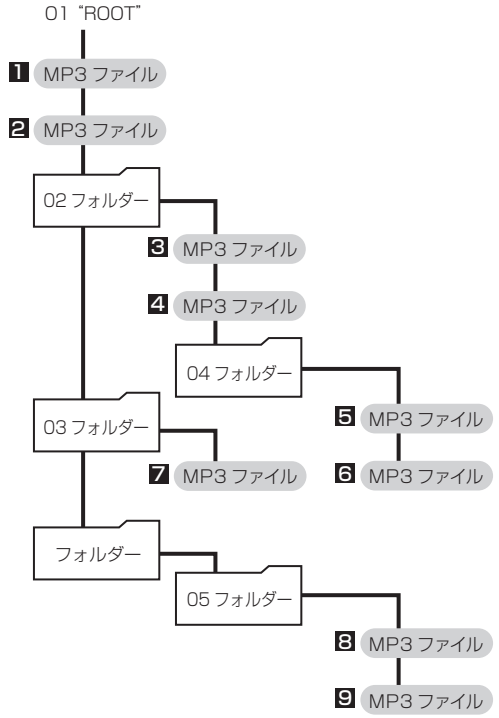
8 プログラムタイマーのオン / オフの時間を設定する。

プログラムタイマーの設定を終了すると、プログラムタイマーに接続したすべての機器の電源がオフになります。

MP3 ディスクの再生順

MP3 ファイルを収録した CD や USB メモリーには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3 ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて 1 つのフォルダーに収めているものもあります。

本機で MP3 ディスクを再生するときのフォルダー番号とファイルの再生順 (1 ～ 9) の例



- ファイルの表示順と再生の順序は以下のようになります。
  USB：MP3 ファイルをコピーした順番
  CD：アスキーコードの順番

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電源ボタン (POWER) を押して、本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

ボタンを押しても反応しない。

➡ 動作中は、ボタンを押しても反応しないことがあります。しばらく待ってから再度ボタンを押してください。

音が出ない。または小さな音しか出ない。

➡ アンプとの接続を確認してください。
➡ スピーカーや他の機器との接続を確認してください。
➡ 接続した機器の操作が正しいか確認してください。
➡ スピーカーケーブルの ⊕/⊖ がショートしていないか確認してください。
➡ 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、入力ソースを選んでください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CD プレーヤー

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて 1、2 時間放置してください。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びする場合があります。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

カセットテープ

カセットホルダーが閉まらない。

➡ カセットテープが正しくセットされていないと閉まりません。正しく入れ直してください。

音質が悪い。

➡ ヘッドをクリーニングしてください。(10 ページ)

再生スピードが速い / 遅い

➡ ピッチコントロールの設定を確認してください。(27 ページ)

次のページに続きます ➡

録音できない。

➡ 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

➡ 録音レベルを確認してください。(34 ページ)

USB メモリー

USB 再生ボタン (▶) を押しても、再生できない。

➡ USB メモリーに MP3 ファイルが記録されているか確認してください。

➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3 ファイルです。MPEG 1 LAYER 2 ファイルなどは再生できません。

録音できない。

➡ USB メモリーに空き容量があるか確認してください。

➡ USB メモリーがロックされていないか確認してください。

➡ 録音レベルを確認してください。(31 ページ)

➡ USB メモリーによっては正常に録音できない場合があります。その場合は別の USB メモリーに交換してください。
本製品はすべての USB メモリーへの録音を保証するものではありません。

モニター音が途切れる

➡ CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

MP3

ファイル名が正しく表示されない。

➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) や、半角カタカナなどの英数字以外の 1 バイト文字が使われている場合、再生は可能ですが、ディスプレーに正しく表示できません。

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

➡ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集した MP3 ファイルを作成し直してください。本機で録音したファイルには ID3 タグは記録されません。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

仕　様

CD プレーヤー部

ピックアップ . . . . . 3 ビーム、半導体レーザー
デジタルフィルター
8 倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
周波数特性 . . . . . 20Hz ～ 20kHz ±2dB
全高調波歪率 . . . . . 0.02% 以下 (1kHz)
S/N 比 . . . . . 87dB 以上 (IHF-A)
アナログ出力 . . . . . 2.0V(RCA)

カセットテープ部

トラック形式 . . . . . 4 トラック 2 チャンネル・ステレオ
ヘッド構成 . . . . . 録音／再生ヘッド ×1
消去ヘッド ×1
テープタイプ . . . . . カセットテープ C-46/60
テープ速度 . . . . . 4.76cm/ 秒
モーター . . . . . DC サーボモーター ×1
ピッチコントロール . . . . . 約 ±10% (再生のみ)
ワウ・フラッター . . . . . 0.25% (W.RMS)
周波数特性（総合）
50 ～ 12,000Hz ±3dB：クローム
50 ～ 12,000Hz ±3dB：ノーマル
SN 比（総合） . . . . . 59dB（3%THD レベル WTD）
早巻時間 . . . . . 約 120 秒（C-60 テープ）
ライン入力 (RCA)
462mV（入力インピーダンス 50kΩ 以上）
ライン出力 (RCA)
462mV（負荷インピーダンス 50kΩ 以上）

USB

インターフェース . . . . . .USB 1.1 FULL SPEED
(12Mbps)
再生
周波数特性 . . . . . 20Hz ～ 20,000Hz(±2dB)
S/N 比 . . . . . 85dB 以上
再生ビットレート . . . . . 8 ～ 320kbps
録音
周波数特性
CD → USB . . . . . 20Hz ～ 15kHz(±3dB)
LINE IN → USB . . . . . 100Hz ～ 15kHz(±3dB)
S/N 比 . . . . . 85dB 以上
録音ビットレート 128kbps

マイク入力

マイク入力端子 . . . . . モノラル 6.3mm (標準ジャック)
基準入力レベル . . . . . 0.78mV (− 60dBm)
入力インピーダンス . . . . . 47kΩ 以上
電源供給機能 . . . . . なし

一般

電源 . . . . . 100V AC、50-60Hz
消費電力 13W
外形寸法 (幅、高さ、奥行)
435 x 145 x 288mm(突起部を含む)
質量 4.8kg
許容動作温度 . . . . . + 5℃～+ 35℃
許容動作湿度 . . . . . 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 . . . . . − 20℃～+ 55℃

付属品

リモコン (RC-1329)×1
リモコン用乾電池 (単 4)×2
RCA オーディオケーブル ×2
取扱説明書 (保証書付き、本書)×1
簡単録音ガイド ×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 6 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

41 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他： 製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：カセットデッキ /CD プレーヤー AD-850
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名および形名	カセットデッキ /CD プレーヤー AD-850
機番	
保証期間	本体　1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 電話　（　）

販売店	所在地・名称 (印) 電話　（　）

見本

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
   無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47　https://teac.jp/jp

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室 〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。